

2 6 相模トラフ沿いの最大クラスの地震による津波【危機管理本部】

(平成27年3月31日公表 神奈川県 津波浸水想定について(解説)の抜粋)

1 平成27年3月の津波浸水想定について

東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、平成24年3月に、最大クラスの津波を対象として、津波浸水予測図を公表し、津波対策に取り組んできました。

そうした中で、平成25年12月に、内閣府が設置した「首都直下地震モデル検討会」から、発生間隔が2千年から3千年あるいはそれ以上とされる、相模トラフ沿いの最大クラスの地震など、最新の科学的知見が示されました。

このため、国の新たな知見を取り入れ、最大クラスの津波については、県民のいのちを守ることを目的として、想定外をなくすという考えのもと、予測を見直すこととしました。

2 相模トラフ沿いの海溝型地震(中央モデル)

(1) 発生間隔

2千年から3千年あるいはそれ以上

(2) 最大津波高

約2.9m(津波のみの高さは、約2.0m)

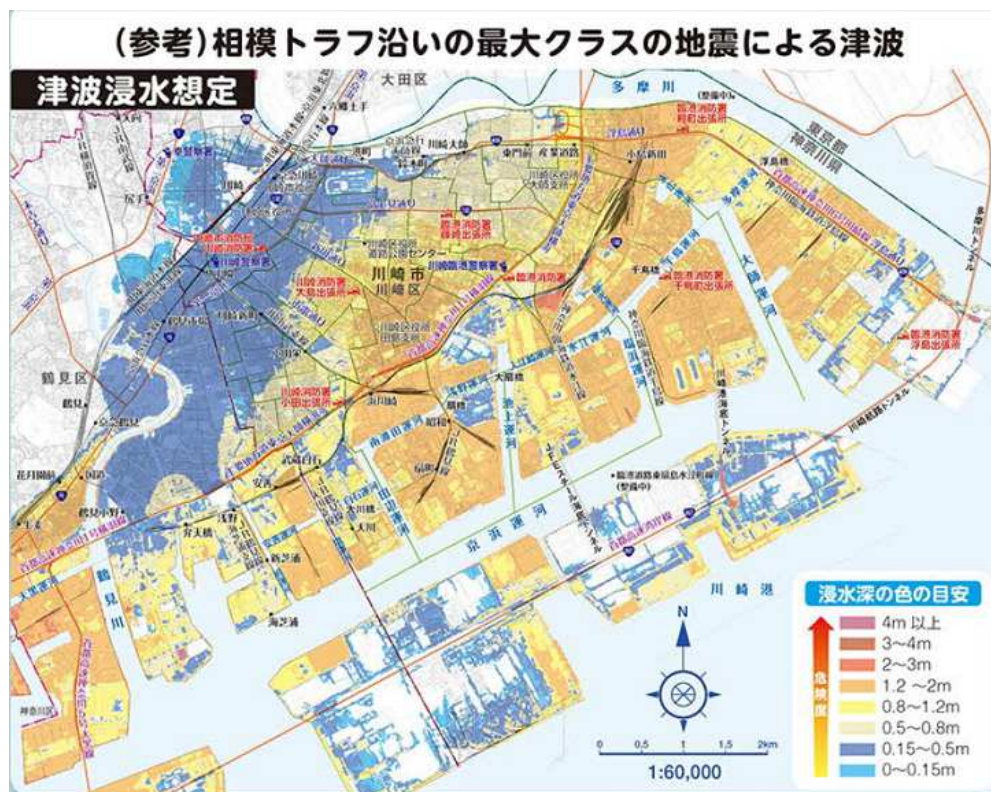
(3) 最大津波高到達予想時間

約134分

(4) 浸水面積

約32.9km²

(5) 津波浸水想定



川崎市では、発生間隔や対策の継続性を考慮して、「慶長型地震による津波」への対策を継続します。